

## 令和元年度 第 2 回デ活シンポジウム

「企業も強くなる首都圏も強くなる

～住民や従業員・職員の安全力を高める～」

日時 2019 年 9 月 24 日(火) 14:00～17:00

場所 都道府県会館 1F 101 大会議室

(司会：古屋) 本日はご参加いただき、誠にありがとうございます。ただ今より首都圏レジリエンス総合力向上プロジェクト令和元年度第 2 回シンポジウム「企業も強くなる 首都圏も強くなる～住民や従業員・職員の安全力を高める～」を開催します。私は司会進行役の防災科学技術研究所首都圏レジリエンス研究センターの古屋です。

開会に当たり、文部科学省研究開発局地震・防災研究課防災科学技術推進室長、齋藤憲一郎様よりご挨拶を頂きます。

### 挨拶

齋藤憲一郎(文部科学省 研究開発局地震・防災研究課 防災科学技術推進室長)

本日はご多忙にもかかわらず、各業界においてご活躍の皆さまにお集まりいただき、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

ご案内のとおり、先般の台風 15 号は、記録的な防風・大雨により各地で大きな被害をもたらしました。千葉県を中心とした停電・断水による被害の他、鉄道の復旧にも見込み以上の時間がかかるなど、国民の皆さまの日常生活にも混乱を来しています。また、今回の台風は、首都圏各地の沿岸工業地帯の半導体や自動車部品などの工場が冠水により操業停止に追い込まれるなど、企業活動にも大きな影響を及ぼしました。地震に限らず、これらの災害による物的・経済的被害は非常に大きく、われわれが標榜しているレジリエンス総合力の向上は喫緊の課題となっています。一つ一つの企業、一つ一つの自治体が強くなることで、首都圏、さらにはわが国全体が強靱な社会をつくり上げることができると考えています。

今回進めている首都圏レジリエンス総合力向上プロジェクトにおきましては、地域のレジリエンス総合力向上のための研究活動を推進するとともに、産官学民の有機的な連携を通じて、組織・団体が有する地震センサー等のさまざまなデータを共有し、ビッグデータを活用した社会全体の防災力の向上を目指しています。また、

防災分野における各企業・組織の課題解決や災害時の事業継続能力向上を目的として、データ利活用協議会(デ活)を立ち上げ、運営いただいているところです。

本日のデ活シンポジウムは「住民や従業員・職員の安全力を高める」をテーマとして、先進的な枠組みや事例に関する基調講演を頂く他、テーマ別分科会のうち二つの分科会の取り組み、さらには前回も好評でした下村先生のパネルディスカッションなど、大変興味深い盛り沢山の内容と承知しています。

レジリエントな社会の構築に向けて、企業、自治体等の皆さまとの連携を強化し、成果を具体の社会実装につなげていくためにも、また、企業や自治体の方々に、災害時に日頃の生活や経済活動を中断してよいか否か、どのような規模で継続するのか等を考えるといった、今後の実際的な運用につなげていただくためにも、本日のシンポジウムが有意義なものとなることを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。